



流し撮りでスピード感を強調し、主役を際立たせる

新型車輛として投入間もないころの秋田新幹線E6系。このJAPAN REDとスピード感を捉えるため、逆光に輝く木々の中を走る勇姿を低速シャッターで流し撮り。PLフィルターでテカリを抑え、赤と緑のコントラストが美しい写真になった。



プリントして確認すると写真がみるみる上達する！

鉄道写真の醍醐味は金属質の車輛をカッコよく写すこと。光や構図を工夫することで斜光に輝く車体を撮影できる。でもボクは風景と絡めた鉄道写真も気に入っている。四季折々の風景と鉄道を組み合わせることで、趣のある鉄道写真が撮れる。画面の中にどのようにな車輛を配置するか、構図にもこだわって撮影したい。そのためには流し撮りや高速連写、置きピンなど、撮影テクニックを駆使することも重要だ。

せっかく構図にこだわって撮影した作品も、パソコンの画面で見ているだけでは自己満足で終わってしまう、いっしょにデータも埋もれてしまう。やはり写真はプリントしてこそ作品として成立し、また人に見てもらう機会もものずと増えていく。自分の写真を見てもらい、ほかの人の意見や感想を聞くことで、撮影モチベーションを上げることができ、ひいては写真の上達にもつながっていくと思う。

気に入った作品が撮影できたら、小さなサイズでもいいので、まずはほとんどプリントしてみよう。Colorio V-edition EP-50Vなら印刷コストが安いので気兼ねなくプリントできる。L判や2L判でもよいが、写真用のハガキ用紙がオススメ。ポストカードにすれば、そのままプレゼントしても、メッセージを添えて郵送しても喜ばれる。プリントすると今まで見えなかった部分が見えてくる。画面の隅の隅の映り込みやフレアなど、細かな点に気が付くことで、より良い写真が撮影できる。



新幹線を連写で捉え バランスのいい構図で写す

富士山の頂上に朝日が差し、ピンク色に染まったところにやってきた東海道新幹線を高速連写で捉えた。新幹線をバランスのいい構図で捉えるには連写がオススメ。たくさん撮って後から選べば思わぬ発見もある。

気になるカットはポストカードにして 写真の善し悪しを見極めよう



写真の良さを判断するためどんどんプリントしよう

パソコンのモニターで見ているだけでは写真の本当の善し悪しは判断できない。撮った写真はどんどんプリントして、良い点、悪い点を確認しよう。ポストカードにしておくと、写真のセレクトにも使えるし、プレゼントしても喜ばれる。

風景の中の鉄道を情緒豊かな色彩で描く

満開の桜の中を駆け抜ける秋田新幹線。前景の新緑と背景の山並みが奥行きを感じさせる。風景と鉄道は相性がいいので、積極的に組み合わせ狙いたい。色彩にこだわってプリントしたくなる一枚だ。

Colorio V-edition EP-50V × 浅水浩二

鉄道風景が鮮やかなプリントに仕上がる 鉄道写真の仲間とハナシが弾む 傑作ポートフォリオを作ろう！

構図や色彩にこだわり抜いた鉄道写真も撮影したままではもったいない。プリントしてポートフォリオにまとめ、写真仲間に見てもらうことで、写真の楽しさがさらに広がる。

協力／エプソン販売株式会社

自信作をプリントして
カンタンに作品集が作れます！



光沢感が美しい流麗な新幹線が Colorio V-edition EP-50V で際立つ！



コンパクトボディで A3 ノビが楽しめる

机上にも置けるコンパクトサイズながらA3ノビにも対応する。設置面積はA3ノビの用紙とほぼ同等だ。天面がフラットなので、一時的にプリントを置いておくこともできる。



色鮮やかな写真画質と 低印刷コストを両立

基本4色にグレーとレッドを加えた「Epson ClearChrome K2インク」を採用し、高いプリント画質を実現。L判1枚あたり約12.7円（税別）※の低印刷コストも魅力だ。

プリンターは？

写真画質にこだわった
染料インクモデル
Colorio V-edition
EP-50V をチョイス！



A3ノビの迫力ある作品づくりまで楽しめる高画質な染料モデル。色鮮やかでコントラストの高い再現性は、斜光に輝く新幹線の車体や、自然風景と絡めた鉄道写真のプリントに適している。写真用紙クリスピー〈高光沢〉と相性がいい。



自慢のポートフォリオで撮影の思い出が膨らむ

ポートフォリオの基本ファイルはA4タテ。ヨコ位置写真が多い鉄道写真では、ヨコ開きのファイルを選ぶとまとめやすい。ライバルに差を付けるならA3ノビのファイルに傑作をまとめ、ドローンと見せつけよう。

傑作をプリントして写真仲間に見てもらおうと作品力がアップする！

インデックスプリントで作品の並び順を考える

ポートフォリオは見開きの作品の見せ方が重要になる。インデックスプリントや小さなプリントを並べて検討しよう。全体の色味や車輛の向きを考えて組み合わせることが大切だ。



プリント作品がキレイに見える写真用ファイルを選ぶ

プリントをキレイに見せるためのファイル選びも重要。今回はフィルムの透明度が高く、台紙が黒で作品が際立つハクバ「プロフェッショナルプリントアルバムⅢ」を選んだ。

エプソンの『フォトポータル』で作品づくりを極める！



エプソンのWebサイト「フォトポータル」では、プリント設定からレタッチ、用紙の知識、便利なソフトウェアまで、プリントに役立つ情報を満載。フォトコンテストやセミナー情報も掲載されているので、写真好きは要チェックだ。

epson.jp/katsuyou/photo/

今回は Epson Proselection SC-PX5VⅡ によるプリントづくりを深澤 武カメラマンが紹介します。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

ポートフォリオを作ると写真ライフが豊かになる

ボクは基本的にRAWデータで撮影し、Adobe Photoshopで明るさや、トーンカーブでコントラストを整えて仕上げている。プリントにはプラグインソフトの「Epson Print Layout」が便利だ。作品の構図を生かすため、画面が切れてしまうフチなし印刷は使えない。ポートフォリオを作るには縦横比を固定し、A4サイズで15ミリ程度、A3ノビで30ミリ程度の白フチを付けるようにしている。また、プリントを作品として仕上げるなら黒フチもオススメ。ポジフィルムのように画面が締まり、見栄えがよくなる。

Colorio V-edition EP-50Vの鮮やかな再現性には、写真用紙クリスピア

「高光沢」をはじめとする光沢系の写真用紙が似合うが、モノクロや淡い色の写真にはマット系の用紙も面白い。作品プリントが完成したら、人に見てもらうことを意識し、ポートフォリオにまとめてみよう。ファイルサイズの基本はA4タテであるが、タテ位置とヨコ位置の写真を見開きで見せる場合は、写真のサイズが小さくなっても天地をそろえ、見やすさを優先させる。ヨコ位置の写真が多いなら、ヨコ開きのファイルにまとめることで、大きく見せることができる。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。

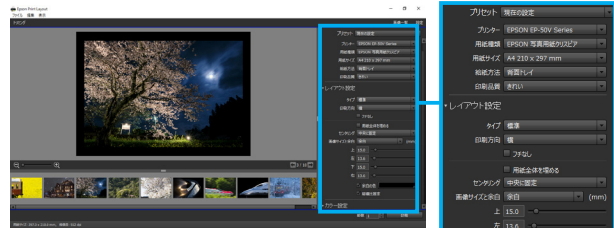
鉄道写真を撮影する現場には大勢の写真仲間が集まる。これまでの成果をポートフォリオにまとめて見せ合えば、いろいろな意見を聞くことができ、撮影情報を得ることもできる。写真がうまくなりたいならプリントして、人に見てもらうことが大切である。



こだわりの作品は大きく伸ばして額装して仕上げる

A3ノビのプリントは額装すれば立派な作品に仕上がり、プレゼントすれば喜ばれること請け合いだ。マットの窓より数ミリ大きくプリントし、なるべく絵柄が切れないように額装する。

Epson Print Layoutでプリントイメージを事前に確認できる



プラグインソフトでプリント設定が自由自在

RAW現像で作品を仕上げたら、用紙やフチなどをイメージどおり設定できる「Epson Print Layout」を使ってプリントする。こだわりの構図を生かすため、縦横比固定にチェックを入れてノートリミングでプリントした。

チルト液晶でプリント設定をチェック！

高い位置からでも見やすいチルト式液晶モニターを搭載。プリンターに設定している用紙とプリント時の設定が異なると、エラー表示で知らせてくれ、プリントミスを防ぐことができる。



Asamizu Kouji

1968年、神奈川県生まれ。小学生のころのブルートレインブームが鉄道写真を始めるきっかけとなる。コマース撮影スタジオに勤務した後に独立。鉄道車輛の撮影だけでなく、鉄道模型の撮影や旅行誌など、幅広く鉄道写真に関わっている。日本鉄道写真作家協会会員。

Velvet Fine Art Paperでモノクロ作品を階調豊かに描く



マット系の用紙で高品位なモノクロ作品を楽しむ

Colorio V-edition EP-50Vはモノクロの再現性が高いので、色彩のない雪景色はモノクロで表現してみよう。階調で見せるモノクロ作品は光沢感のないVelvet Fine Art Paperやフォトマット紙が似合う。淡い色彩の作品プリントにもオススメです。

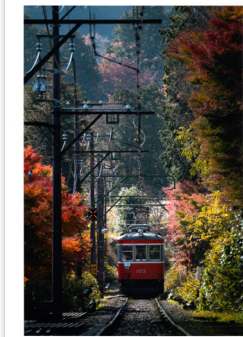


Velvet Fine Art Paper



夜の駅風景に黒フチを付けて作品力をアップ

小湊鐵道飯給駅にはたくさんのカメラマンが集まる。狙いはライトアップされたサクラと鉄道の組み合わせ。通常のポートフォリオの場合は白フチに統一しているが、一枚の作品としてプリントするなら黒フチにして印象的に仕上げるのもよい。



色付きがイマイチな紅葉風景は高彩モードでイメージどおりに

秋は紅葉と鉄道を組み合わせても面白い。撮影時期や光線状況により、イメージ通りの鮮やかさが捉えられなかったときは、Epson Print Layoutのカラー設定から「高彩モード」を選べば、イメージした記憶色が甦る。

◀通常のプリント



▲高彩モードでプリント